

NKE社長 中村 道一氏



「自動車をはじめ多くの業界で止まっていた設備投資が再開し、新しい引き合いも増え、自動化設備の受注はまだ厳しいが、何もかも無かった頃からは回復が見えてきた。顧客ニーズに小回りを利かして徹底的に対応、そこから標準品を生み出すのが強み。フレキシブルな生産ラインの構築ニーズが多く、無人搬送車（AGV）のアプリケーション開発に力を入れている」

「具体的には「上物標準化と呼んでいる。AGVの上部にコンベヤーを載せて

小回り利かして徹底対応

荷物移動を自動化した。この2年、搬送途中に簡単な半、新規顧客開拓に苦作業を行ったり、荷物受け渡しを自動化した。頂けるようになるまでといったアプリケーションの関係を構築でリアルタイムの対応実績はすでにあり、顧客起業者制度（EIR）を進める。多様なワークをハンドリングし、いろんな搬送ラインを手がけてきた「アフターコロナが見えてきました」

「リアル営業にかじりついてきた。この2年、新規顧客開拓に苦作業を行ったり、荷物受け渡しを自動化した。頂けるようになるまでといったアプリケーションの関係を構築でリアルタイムの対応実績はすでにあり、顧客起業者制度（EIR）を進める。多様なワークをハンドリングし、いろんな搬送ラインを手がけてきた「アフターコロナが見えてきました」

「リアル営業にかじりついてきた。この2年、新規顧客開拓に苦作業を行ったり、荷物受け渡しを自動化した。頂けるようになるまでといったアプリケーションの関係を構築でリアルタイムの対応実績はすでにあり、顧客起業者制度（EIR）を進める。多様なワークをハンドリングし、いろんな搬送ラインを手がけてきた「アフターコロナが見えてきました」

京都企業トップに聞く

(順不同)